マチに学び都市を楽しむ／まちづくりNPO

特定非営利活動法人 もうひとつの旅クラブ

2011 年度(第 10 期)事業報告書

1. 旅クラブが 2011 年度に取り組んだ事業実績

2011 年度は、「大阪まち遊学」、「ご来光カフェ」といった当 NPO がこれまでに開発、実践してきた事業の継続を中心に活動するとともに、「水都大阪 2009」からの継続的な活動として「北浜テラス」や「OSAKA 旅めがね」を継続・継承していく活動に注力した。今年は、「水都大阪フェス 2011」にて「大阪まちあるき CUP」の企画・運営を行った。

「大阪まち遊学」は新人メンバーも含め 11 コースの企画・立案を行い、平均して参加者数も多く充実した内容となった。

「OSAKA 旅めがね」においては、その運営面において、当 NPO メンバーが主力となっており、次年度以降の展開等についても検討を進めてきた。

また「大阪まちあるき CUP」では、2011 年 10 月に行われた全 36 コースのまちあるきツアーを集約・PR し、各ツアーに参加した参加者自身からのコメントや写真をフェイスブック上で公開することで、参加者が感じるまちあるきの楽しさを広める取組みを行った。

2011 年度は水都大阪フェス 2011 関連以外にも大阪水上バスの船着場（大阪城港・淀屋橋桟橋）の整備や北浜での船着場の社会実験など水辺の拠点づくりにつながる活動が多くあり、それらにメンバーの専門を存分に活かした活動の展開もあった。

各活動についての新聞、雑誌、ホームページにおける情報発信も充実し、「ご来光カフェ」や「大阪まち遊学」などの集客にも結びついてきているといえる。

以下が本年度の主な事業項目一覧である。

(1) 大阪まち遊学の企画・実施
(2) ご来光カフェ 2011 の企画・運営
(3) 市民参加による都市活性化に関する調査
(4) OSAKA 旅めがねの運営協力
(5) 大阪川床・北浜テラスの企画・調整および実施協力（船着場プロジェクト）
(6) 観光集客施設デザイン事業
　① 大阪水上バス大阪城港・情報の森整備
　② 大阪水上バス淀屋橋桟橋・景観整備
(7) もうひとつの旅談義の企画・実施
(8) 水都フェス 2011ー大阪まちあるき CUP の企画・運営
(9) 情報提供、提言活動事業

これら事業の詳細や組織内評価分析を以下に報告する。

（1）大阪まち遊学の企画・実施

【事業趣旨・目的】

自分が身近に生活するまち（居住地でも勤務地でも構わない）を旅人の目線であるいてみる。普段なにげなく接しているそのまちにいままで気がつかなかった魅力を発見してしまう。その魅力をその人の視点で紹介、自慢し、再び訪れたくさせる。旅人とジモティとの出会いを生み出す新たなコミュニティ・旅のプログラムを造成しまちの活性化を促進する。

【事業内容】

・11 コースのまち歩きプログラムの企画、開発、参加者募集、実施。

【事業成果】

実施日	エリア	タイトル	参加数（お客様）	参加数（NPO）
6/25(土)	阿倍野	チン電に乗って達人に会いに行こう!･阿倍野	4 名	4 名
7/2(土)	高井田	モノづくりの現場の最先端に潜入･高井田2	5 名	3 名
7/16(土)	大阪大学	引越しの手伝い？大阪大学	10 名	7 名
8/7(日)	大阪城	大阪城　納涼NIGHT	14 名	7 名
9/10(土)	緑橋	ノスタルジア･緑橋	11 名	6 名
9/17(土)	大阪駅前ビル	大阪駅前第1～4ビルの逆襲	20 名	5 名
10/15(土)	蒲生4丁目	「がもよん」に寄ってこ！	10 名	7 名
10/29(土)	中崎町	小さな映画世界･中崎町	10 名	4 名
11/5(土)	ベイエリア	輪りん臨海ポタリング	11 名	5 名
11/12(土)	近鉄長瀬	大学通りの素の顔･長瀬	6 名	5 名
11/26(土)	島之内	アリャ！ここにもコリアタウン･島之内	11 名	4 名
合　計			112 名	57 名

今年度は、コース造成に非会員メンバーも参加し、過去最高の 11 コースを実施。スタッフを含めて合計で延べ 169 名の参加となった。

コースの内で､「がもよん」に寄ってこ！」（10/15 実施）、「小さな映画世界･中崎町」（10/29 実施）においては、水都大阪フェス 2011 の企画「大阪まちあるき CUP」へのプログラムエントリーを行い、他の団体が企画するまちあるきプログラムと共同で、世間に対するまちあるきの認知度の向上に努めた。

まちあるき CUP は、SNS（ソーシャルネットワークシステム）であるフェイスブックを駆使することで参加者間での「まちあるきの面白さ」や「まちの魅力」の情報共有を実現。グランプリ形式で運営することにより、個々の団体やその団体が企画するプログラムを横断的に連携させることを実現した企画であり、まちあるき CUP にエントリーした上記 2 つのプログラムにおいては、新しいまちあるきの形を示唆することに貢献出来たと考える。

今年度のプログラムの特徴は、前年度で実施したプログラムをリバイスすることで、まちの魅力をさらに深堀したもの、歩くのではなく自転車を利用する方法をとり案内エリアを拡大したもの、

大学構内やビル内といった閉鎖的な空間をまちに見立てて造成したものといったように、新しい切り口で取り組んだものが幾つかあり、毎年内容が変化に富んできている。

【活動写真】

【主担当】岩田理事長、岸田副理事長、福田副理事長、森事務局長、泉理事、脇理事、河野理事、米谷監事、羽田

（2）「ご来光カフェ」 中之島物語～その魅力と未力 の企画・運営

【事業趣旨・目的】

市民共有の資産である「中之島の水辺」を舞台に「都心の自然」という魅力の発掘を行い、水辺という公共的空間の過ごし方、使い方を多様な側面から提案し、各人それぞれの「中之島時間」を発見していただくことで、実施期間後、1 人でも多くの方に中之島の豊かな普段使いをしていただくことを目的とし、今年 6 回目の開催となった。

【事業内容】

・期　間：2011 年 10 月 1 日（土）～8 日（土）
・営業時間：日の出（5:50 頃）～8:30
・場　所：大阪水上バス淀屋橋港桟橋
・内　容：①桟橋を装飾し、テーブル・椅子を設置して朝日を眺めるカフェを営業、飲み物は 400 円で提供

②アクア mini によるミニクルーズの実施（6:30 より随時、乗船料 1,000 円ﾜﾝﾄﾞﾘﾝｸ付）
③専用ホームページによる PR と営業日誌の公開
④アンケートの実施
⑤継続的な開催のための賛同者・ボランティアスタッフの募集
⑥ご来光カフェ ロゴ入りコースターの作成とお客様への配布
⑦大阪旅めがねプレミアムツアーとのコラボ企画の実施

・後　援：水辺のまちづくり企画推進委員会
・協　力：大阪水上バス株式会社

【事業成果】

前年と同様、本年も天候に恵まれ、営業予定 8 日のうち 7 日の営業となった。ボランティアスタッフも定着してきており、各人の経験・ノウハウも蓄積され、貴重な戦力となっている。また、給仕のオペレーションも年々改善し円滑化され､おもてなしのレベルも高くなっていると考える。期間中の来訪者は 512 名。当企画開始の 2006 年来訪者数 504 名を抜いて 1 番の人数となった。当時の開催期間は 2 週間であったことを勘案すると今年度の集客数は飛躍的にあがったことになる。

ご来光クルーズの乗船者数は 159 名､乗船ウェイトは 31.1%となり､昨年の 38.5%より低かった。

マスコミの取材は、FM802「HIROT'S MORNING JAM」10／3（月）放送、ラジオ大阪「お天気コーナー」10／5（水）放送、最終日に梅田経済新聞社の取材を受けた。また、パブリシティとしては、水都フェス 2011 パンフレットに情報を掲載頂き、集客に大きく影響を与えた。

また、今回は、昨年天候の都合で中止となった、大阪旅めがねプレミアムツアーとのコラボ企画が実現出来た。深夜に八軒家浜港を出発、夜の河川をクルーズ、水辺の BAR での歓談、中央市場の競りの見学を体験した後、ご来光カフェで締めるといったプログラムを実施。ご来光カフェを軸とした、複合プログラムの造成を現実的なものにすることが出来た。

【活動写真】

【主担当】岩田理事長、脇理事

（３）市民参加による都市活性化に関する調査

【事業趣旨・目的】

都市の活性化において、都市経営の主体や方法論が昨今議論されている。その中で、中央集権と地方分権、行政セクターと市民セクター、従来型地縁･社縁コミュニティとテーマ型ネットワークコミュニティなど、従来の境界を越えて再編していくことが必要との認識がなされている。新しい活動と空間にはコミュニティが生まれ、重層的な地域コミュニティが大切になるが、自らの地域を経営するための自己責任と自己決定権限を持つための運営の智恵が求められる。これには、社会の推進エンジンである市民の活躍の仕組みが求められ、これら市民力、地域力が、これからの都市の魅力を大きく左右する。

大阪総出で取り組んだ都市プロモーション及び新たな担い手づくりキャンペーンである水都大阪 2009 は、市民参加、継続継承がテーマになっていた。打ち上げ花火のイベントに終わらないようにするため、市民参加の手法や相互の関係性づくりの工夫、イベント参加した市民が継続的な市民活動を行っていくという大阪で初めての社会実験の場であった。しかし、期間が終了しその後の活動を振り返ると、一部成果は残されたが、その理念はまだ達成されたとは言い難い状況にある。

一方で、全国的にまだ例は少ないが、異なる価値観やアイディアを持つ個人が、他者との相互作用を通じて刺激し合い、「気づき」を起こし、相互の総和にとどまらない新しい価値観や企画を創造し、継続的に地域や人と関わり続けている、というプロセスをていねいに進めている人達がいる。このようなプロセスや状態は「創発」と言われている。

大阪のみでなく関西圏として、各活動主体が自らの主体性を保ちつつ必要に応じて連携することで、全体が活性化することが期待される。相互が刺激し合い新たな価値観や企画を生む創発の場の運営技術を応用することで、都市の新たな担い手となる市民が最大限能力を発揮できる社会を実現させたい。

当調査では、

①市民参加の視点を整理し、

②水都大阪 2009 における市民参加の実態を再認識し、

③全国･関西の先進事例を研究し､創発の体制づくりや運営方法のポイントや留意点を探り、

④大阪におけるモデル提案を行い、

大阪や関西圏の都市活性化に必要不可欠な市民創発の導入の方向性を示すことを目的とする。

【事業内容】

・期　間：2010 年 12 月～2011 年 3 月

・委託者：関西電力株式会社

・内　容：①市民参加の視点と水都大阪 2009 における市民参加の実態

②先進事例研究

③光のまちづくりにおける基礎情報の整理

④まとめと考察

【主担当】泉理事長、岸田副理事長、岩田事務局長、福田理事、河野理事（役職は 2010 年度時点）

（4）OSAKA 旅めがねの運営協力

【事業趣旨・目的】

OSAKA 旅めがねは、継続的に地域コミュニティの元気を育むソーシャルビジネスを目指している。着地型観光プログラムを通じて、大阪の真の魅力を再発見し、地域と参加者との交流機会を創出する。当 NPO は、水都大阪 2009 の事業立ち上げ時には共同事業者として参画。水都大阪 2009 終了後、事業者は退いたが、運営協力者として継続して企画運営、案内人、プロモーションなど様々な形で役割を担っている。

【運営協力概要】

①事務局会議への参画

・旅めがねの運営方針の決定

担当：岩田理事長（泉理事は有限会社ハートビートプランとして参画）

②リーダーさん会議のとりまとめ

・各エリアグループ会議 1/15、1/16

担当：岩田理事長、福田副理事長

③旅めがねの未来を考える会への参画

・2012 年 4 月以降の方針検討（事業継続の可否、事業を続ける場合の事業体制、収支計画等）

▷旅めがねの未来を考える会開催日：6/9、6/13、6/18、6/22、6/27、10/18、11/8、12/18

担当：岩田理事長、岸田副理事長、福田副理事長、森事務局長、脇理事、羽田

④エリアクルーとして案内

・プロの案内人としてお客様を案内

担当：岩田理事長（鶴橋、新世界、プレミアム大阪駅）、岸田副理事長（野田、中之島、プレミアムご来光）、福田副理事長（大正、中之島）、森事務局長（北船場）、脇理事（野田）、米谷監事（プレミアムご来光）、羽田（空堀）

⑤プロモーション

・様々なチャンネルで PR 支援

●「MBS ちちんぷいぷい」、「ABC おはよう朝日」にて鶴橋紹介（岩田理事長）

●「KTV ウラマヨ」にて大阪駅ツアー紹介（岩田理事長）

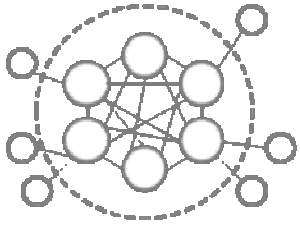
●「MBS ちちんぷいぷい」にて大正紹介（福田副理事長）

●その他、様々なチャンネルで PR 支援

担当：岩田理事長、岸田副理事長、福田副理事長、森事務局長、脇理事、羽田

【活動写真】

◀プレミアムご来光ツアー
夜を徹して、水上カフェで
テーブルマジックを楽しむ



▲未来を考える会
運営ボードコミッティの体制イメージ

（５）大阪川床・北浜テラスの企画・調整および実施協力（船着場プロジェクト）

【事業趣旨・目的】

北浜テラスは、2008 年の社会実験、2009 年の常設化を経て 6 店舗になり、認知度も向上してきており、大阪の風物詩として使われるようになってきた。ただ、参加者が増えるにつれ、新規テラス設置者とコンセプトを共有すること、ルールの見直しなどが必要となっており運営体制やルールの強化を行った。あわせて、将来の船着場設置にむけて社会実験を行った。

【事業内容】

①各種会議

・総会（5/17）

・臨時総会（9/29）

・理事会（1/26、2/24、3/15、4/29、5/10、6/13、7/12、8/29、9/12、10/17、11/14、12/22）

・お掃除会（10/28）

②テラスの設置・運営、テラス新設への支援

・設置運用規則変更、火気使用対応、その他

・BUON GRANDE テラス新設、きのしたテラス新設協議

③大阪府護岸整備に関する協議

④北浜テラス船着場プロジェクトの企画・運営

・船着場運営（10/1～31）

⑤大阪水辺バル・北浜テラス特設船着場運営

・船着場運営（10/22）

【活動写真】

【主担当】岸田副理事長、泉理事

（泉、岸田は北浜水辺協議会の理事を兼ねる）

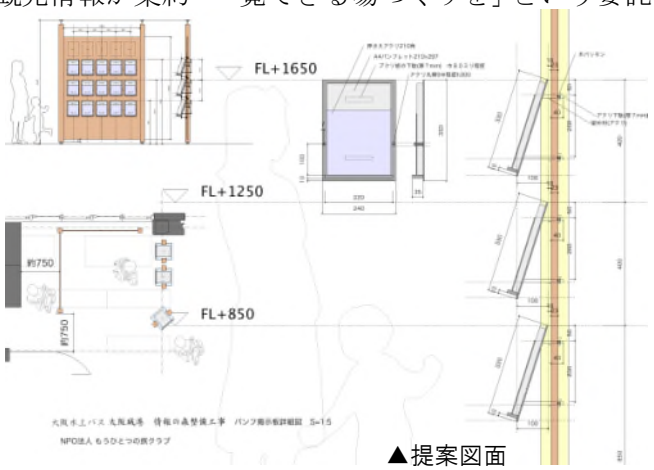
（6-1）観光集客施設デザイン事業1 大阪水上バス大阪城港・情報の森整備

【事業趣旨・目的】

大阪水上バス大阪城港は大阪城を訪れる観光客が合わせて水都を楽しむのに絶好の位置にあり、水都大阪の水辺の重要な観光拠点として整備された施設である。竣工から 30 年近く、最近の改修からも 10 数年が経過して、インテリアの再整備が必要な時期にある。今回はその取りかかりとして、近年特に数が増え、カウンター横に乱雑に並べざるを得なかったポスターや各種リーフレットなどを見やすく手に取りやすい配架スペースの整備をおこなうことが求められた。限られた予算と将来の可変性も考慮しながら、「大阪の観光情報が集約・一覧できる場づくりを」という委託者の意図の実現を図った。

【事業内容】

・委 託 者：大阪水上バス株式会社
・基本構想：2009 年 9 月
・設計期間：2010 年 11 月ー2011 年 3 月
・施工期間：2011 年 3 月 18 日ー25 日



▲提案図面

【事業成果】

デザイン手法としては当 NPO が 2010 年に川の駅はちけんやプロジェクトで開発した「木の情報発信ツール三部作」のうち「木のパーティション」「木のパンフレット台」を応用利用している。安価ながらも木の素材感を生かせるポプラの平行合板を用いて、パンフレット台と掲示＆配架のパネルシステムを構成した。オフィス仕様の既製品にはない手作りで温もりの感じられる統一性を実現する。今後、床材や壁材などのインテリアの改変と照明環境の再構成によりより一層の魅力付けが求められるところである。

【主担当】岩田理事長

▲改修前

▶竣工後

▼配架パネル

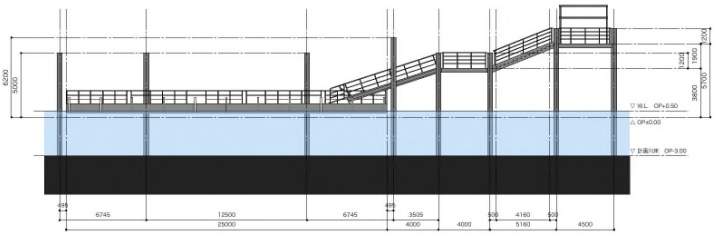
（6-2）観光集客施設デザイン事業2 大阪水上バス淀屋橋桟橋・景観整備

【事業趣旨・目的】

2006 年より当 NPO の企画運営事業「ご来光カフェ」の舞台となっている大阪水上バス淀屋橋港にて、大阪市事業／恒常的な水辺のにぎわい創出活動の一環によりオープンカフェが整備されることになった。この際、中之島の重要な水辺施設の景観整備という観点から当 NPO に桟橋の改修デザインについての依頼があった。当該地域は大阪市風致条例の大川風致地区にあるため、大阪市との折衝をともなう景観検討を行いつつ、快適な水辺を創出する桟橋の改修デザインが求められた。

【事業内容】

・委 託 者：株式会社エコリズム
・設計期間：2011 年 7 月ー8 月
・施工期間：2011 年 8 月ー 9 月

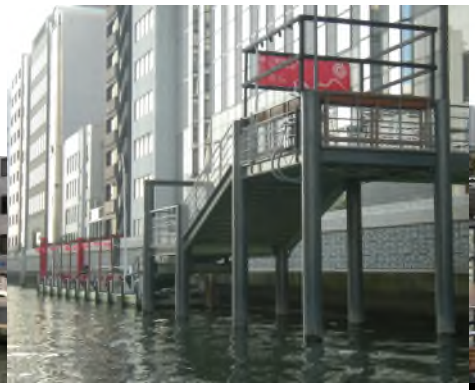


【事業成果】

予算と整備内容のバランスから、桟橋架構材の再塗装、床・階段へのデッキ材の施工、テラスへのカウンターの敷設と夜間演出照明の整備に重点を絞ることとなった。塗装色については現況の薄緑色から、架構の線材をよりすっきりと力強く見せるためにトーンを落とした色の中で検討し、銀鼠色を選定した。チャコールグレーにシルバーを混入させる技術の必要な塗装であり、しっかりした塗装職人の手仕事を施すのと共に、その昔この辺りを拠点に銀本位の仕組みの元に活躍した淀屋にちなんだを銀色を混入することで歴史的な意味を込めた。デッキ材は階段の段鼻の色を明快に変えることで認識しやすくしている。照明計画は光源をなるべく見せずに必要な機能を満たし、アクティビティーの演出につながるように配慮した。空間と調和した外部用の椅子やテーブルも整備できたことにより、本年のご来光カフェは以前にも増して水辺空間をくつろいで楽しめるようになった。

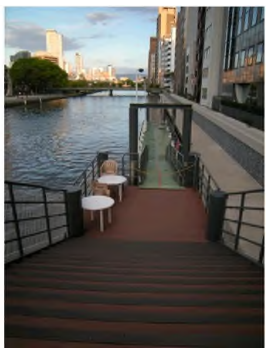
【主担当】

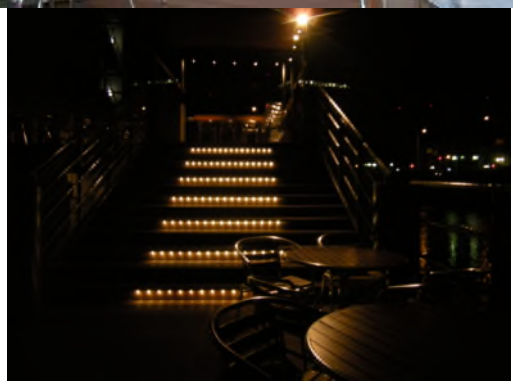
岩田理事長



施工前 → 竣工後

２階段の床整備と塗装





（7）もうひとつの旅談義の企画・実施

【事業趣旨・目的】

2011 年度は「夜景と旅」をテーマとして、もうひとつの旅談義を実施した。具体的には、天満橋の照明デザイン（2011 年 7 月末完成）に参画されたパナソニック電工株式会社 豊留孝治氏より話題提供をして頂くと共に、天満橋を現地見学した。

【事業内容】

概要を以下に示す。尚、実施 1 ヵ月前となる 8 月 1 日より受付を開始した。

・日時：2011 年 9 月 2 日（金）19:00～20:30（第 1 部：講演・現地見学会）
　　20:30～22:00（第 2 部：交流会）
・会場：XingGARDEN（〒540-0031 大阪市中央区北浜東 1-2 川の駅はちけんや B1）
・募集方法：チラシ（図 1）、旅クラブホームページ、フェイスブックなど。
・参加人数：第 1 部 29 名、第 2 部 22 名

【事業成果】

当日は、台風 12 号の影響が心配されたが、幸運にも殆ど影響はなかった。天満橋オープン後 1 カ月で実施したこと（案内はオープン後すぐ）もあり、参加人数は第 1 部 29 名、第 2 部 22 名とほぼ予定と通りとなった。第 2 部交流会で参加者に感想を伺ったところ、「講演会だけでなく現地見学会が良かった」との感想が得られた。また、講演会での質疑応答も活発に行われ、「照明分野において節電や省エネルギーの影響は？」「照明と道路基準とのバランスをどう考えたのか？」「環境影響評価項目に夜間景観を入れるとすればどのような項目を検討しておくべきか？」等の専門的な質問が寄せられた。

NPO 法人 もうひとつの旅クラブ presents

もうひとつの旅談義 2011 第 1 弾

NPO 法人もうひとつの旅クラブでは、2011 年「夜景と旅」をテーマとして、もうひとつの旅談義を開催します。第 1 弾として、7 月末に完成した天満橋ライトアップデザインに携わられた豊留孝治さんをお招きします。是非、お集まりください。

日時：2011 年 9 月 2 日（金）
19:00～20:30（第 1 部：講演・現地見学会）、20:30～22:00（第 2 部：夕食付交流会）
講師：豊留孝治氏（パナソニック電工株式会社）
テーマ：『大阪「みんなでつくるまちあかり」について考える　～京都、城崎、穂山、天満橋など取り組み事例から～』
会場：XingGARDEN（〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東 1-2 川の駅はちけんや B1）
会費：第 1 部・1,000 円（ワンドリンク付）、第 2 部・3,000 円（当日徴収致します）

申込方法：受付アドレス　OsakaTabiclub@gmail.com　宛
お名前、年齢、電話番号、E-mail アドレス、職業、出席希望（第 1 部／第 2 部別）をご記入の上、E-mail（OsakaTabiclub@gmail.com）宛にお申し込みください。
当方から改めて受付確認のご連絡を差し上げます。

申込〆切：2011 年 8 月 26 日（金）
定員：40 名（先着順）

講師略歴：1957 年鹿児島県生まれ。1976 年パナソニック電工（旧・松下電工）入社。環境照明デザイナー。あかりによるまちづくりの照明整備事業の調査や企画、照明計画、社会実験、空間デザイン、照明器具デザイン、コンサルティングなど。主な実績：明石海峡大橋道路灯デザイン、東神戸大橋ライトアップ業務、姫路城・彦根城・熊本城ライトアップ、小布施町街並み景観照明整備構想、松江市都市景観照明マスタープラン、徳島県新町川ひかりのプロムナード整備基本計画、京都高台寺「夢あかり」、浅草地域ライトアップ基礎調査、鳥羽市地方元気再生事業「ひかりの感謝祭」、大阪府天満橋ライトアップ業務、城崎温泉の柳のライトアップなど多数。

NPO 法人 もうひとつの旅クラブ　http://www.tabiclub.org/

◀PR 用パンフレット（左）
当日の様子
（右上：講演、右下：見学会）

【主担当】岩田理事長、岸田副理事長、福田副理事長、森事務局長、泉理事、脇理事、河野理事、米谷監事、羽田

（８）水都フェス 2011ー大阪まちあるき CUP の企画・運営

【事業趣旨・目的】

ほんまもんの大阪を体感できる「まちあるき」は、まだまだマイナーであり、「まちあるき」の本当の面白さをより多くの人に知ってもらうために大阪まちあるき CUP を企画した。

【事業内容】

大阪まちあるき CUP は 10 月 1 ヵ月間に用意された 37 コースの各コースに申し込んだ参加者が通常通りまちあるきを行い、まちあるきで発見したまちの魅力や楽しかったこと（ステキだった人、印象に残ったこと、友達に紹介したい場所等）をフェイスブックページに写真付きで投稿してもらう。投稿は参加者が自分でできない場合、紙面に記入してもらい事務局が代理投稿する。投稿された記事はフェイスブックユーザーであれば誰でも閲覧可能であり、フェイスブックページを「いいね！」クリックしたユーザーは、記事に対して「いいね！」クリックしたりコメントすることが可能である。すなわち、投稿記事が魅力的であれば大勢のユーザーが「いいね！」やコメントを押してくれるため、まちあるきの魅力が口コミ的に拡がることが期待される。人気の投稿は 1 週間毎に集計して、公式ホームページ（http://tabiclub.org/osakacup/）にて紹介した。最終的には、旅クラブメンバーが審査を行い、各賞を決定し、2011 年 11 月 19 日（土）に表彰式を実施した。

※フェイスブックページ（https://www.facebook.com/osakacup）

【事業成果】

大阪まちあるき CUP を実施するために、パンフレット、公式ホームページ、公式フェイスブックページを作成した。パンフレットの配布先、サイトのアクセス数は下記の通りである。

1. パンフレット配布先

配布場所	部数
中央公会堂	50 部
大阪市立大学	100 部
大阪市梅田･難波･天王寺サービスカウンター	各 100 部
総合生涯学習センター（梅田）	200 部
市民学習センター（弁天町･阿倍野･難波･城北）	各 50 部
川の駅はちけんや	100 部
大阪水上バス（淀屋橋港･天満橋港･大阪城港）	各 50 部
大阪市観光案内所 梅田 天王寺	各 50 部

2. サイトのアクセス数

サイト	2011.9.1～10.31	2011.11.1～11.30	計
ホームページ	10,520	1,665	12,185
フェイスブック	6,504	1,993	8,497
合計	17,024	3,658	20,682

大阪まちあるき CUP のデータと表彰者を示す。まちあるき参加者数、フェイスブックページ参加者数、総投稿数などにより、一定の成果が得られたと言えよう。

3. データ

・企画したコースは 37 に対して、実施されたコースは 33
・企画した催行回数は 61 に対して、実施回数は 46
・まちあるき参加者 382 名（ゲストのみ、推定も含む）
・フェイスブックページに「いいね！」クリックユーザ：460 名（9 月 1 日公開、11 月 7 日時点）
・総投稿数：149 件（内、代理投稿 46 件）
・総投稿者数：40 名（10 月 1 日～11 月 7 日現在。事務局による告知投稿を除く）
・投稿に対する「いいね！」総数：1,327 件、ユーザ 170 名
・投稿に対するコメント数：223 件、ユーザ 51 名
・写真投稿数：128 枚

4. 表彰者

・まちあるき CUP 賞（フェイスブックの投稿に対して、他の人からのコメント（2 点）や「いいね！（1 点）」を最も多く受けた方）：松本隆行さん
・まちあるき達人賞（最もたくさんのコースに参加した方）：青野史さん、田尻憲章さん
・エンターテイメント賞（フェイスブックの投稿が一番多く、サイトを盛り上げた方（投稿 3 点、コメント 2 点，いいね 1 点））：分田よしこさん
・ベストフォト賞（まちあるきの魅力を最も伝えている画像をフェイスブックページに投稿した方）：西真貴子さん
・地元の人とふれあったで賞：濱名研さん
・すきすきだいすき♪水都で賞：佐久間康富さん
・何を見てた？で賞：正木敦士さん
・キャー★バレばれで賞：福田洋子さん
・不発で賞：伴浩和さん

▲パンフレット(①)、大阪まちあるき CUP の流れ(②)、大阪まちあるき風景(③)

④

⑤

▲公式ホームページ(④)、フェイスブックページ(⑤)

▲大阪まちあるき CUP を支えた水都サポーター17 名(左)、表彰式(右)

【主担当】岩田理事長、岸田副理事長、福田副理事長、森事務局長、泉理事、脇理事、河野理事、米谷監事、羽田

（9）情報提供、提言活動事業

（1）～（8）の他にも、まちづくり NPO として、大阪のまちの魅力を再発見・開拓し、多くの人々と共有するために、各種情報提供や提言活動への参加などを積極的に展開した。

◆ホームページによる情報提供

当 NPO の社会的プレゼンスの向上を目指し、2007 年度にリニューアルしたホームページ。今年度も最新情報の継続的な提供を試みた。ご来光カフェ、大阪まち遊学、まちあるき CUP、大阪旅めがね、北浜テラス等の旅クラブイベントや報道の話題を中心に、27 回の更新作業を実施した（H22 は 36 回）。また、サイト更新時には、メンバー個人の Twitter や Facebook でもアナウンスを行っている。

What's New！のタイトルは次のとおり。

①イベント

・大阪まち遊学 2011 受付スタート！(2011 年 6 月 14 日 up)
・大阪まち遊学 2011-阿倍野レポート(2011 年 7 月 9 日 up)
・フェイスブックに大阪まち遊学のファンページ作成！(2011 年 7 月 15 日 up)
・【ご案内】もうひとつの旅談義 2011 第 1 弾受付開始しました！(2011 年 8 月 1 日 up)
・大阪まち遊学 2011-高井田 2 レポート(2011 年 7 月 30 日 up)
・大阪まち遊学 2011-大阪大学レポート(2011 年 8 月 5 日 up)
・大阪まちあるき CUP ただ今準備中です(2011 年 8 月 24 日 up)
・プレミアムまち遊学のご案内(2011 年 9 月 1 日 up)
・今年もやります！ご来光カフェ 2011(2011 年 9 月 3 日 up)
・大阪まち遊学 2011-大阪城　納涼 NIGHT レポート(2011 年 9 月 5 日 up)
・大阪まちあるき CUP フェイスブックページ、大阪まちあるき CUP 公式 HP がオープンしました(2011 年 9 月 9 日 up)
・【プレミアム】大正，モ～一杯 2011 レポート(2011 年 10 月 26 日 up)
・大阪まち遊学 2011-ノスタルジア・緑橋レポート(2011 年 10 月 27 日 up)
・大阪まち遊学 2011-「がもよん」に寄ってこ！レポート(2011 年 11 月 4 日 up)
・もうひとつの旅談義 2011 年 11 月 28（月）に開催決定！(2011 年 11 月 4 日 up)
・大阪まち遊学 2011-大阪駅前第 1~4 ビルの逆襲-レポート(2011 年 11 月 8 日 up)
・大阪まち遊学 2011-小さな映画世界・中崎町レポート(2011 年 11 月 24 日 up)
・平成 23 年度第 1 回、第 2 回もうひとつの旅談義 up(2011 年 12 月 2 日 up)
・大阪まち遊学 2011-輪りん臨海ポタリングレポート(2011 年 1 月 30 日 up)
・大阪まち遊学 2011-アリャ！ここにもコリアタウン・島之内レポート(2011 年 2 月 13 日 up)
・大阪まち遊学 2011-大学通りの素の顔・長瀬レポート(2011 年 2 月 13 日 up)

②報道

・脇行雄案内の大阪旅めがね・野田コースが紹介されました(2011 年 3 月 29 日 up)
・雑誌「日経アーキテクチュア」で紹介されました！（2011 年 5 月 28 日 up）
・毎日新聞で紹介「再びの豊後大野（大分県）㊦伝統芸能と伝説」(2011 年 6 月 14 日 up)

・ちちんぷいぷいで福田が大正を案内します(2011 年 8 月 24 日 up)
・梅田経済新聞(2011 年 9 月 30 日付)でご来光カフェが紹介されました！(2011 年 9 月 30 日 up)
・梅田経済新聞で北浜テラスと水辺バルが紹介されました！(2011 年 10 月 19 日 up)

2008 年 6 月 16 日より Google Analytics を用いてトップページのアクセスデータを取得している。
2011 年 6 月 24 日～2012 年 2 月 13 日の期間を重点的に分析する (2011 年 6 月 23 日までで大きな変化は見られない)。主な内容は以下のとおり。

・アクセス数は昨年度、一昨年度と同様にご来光カフェ準備期間と開催期間中が最も多い。ただ今年度は 9 月 30 日のアクセス数が最も多く 156 セッションを記録している（昨年度は 10 月 6 日に最高値 42 セッションを記録)。これは梅田経済新聞及び Yahoo！ニュースに同日掲載されたことが影響していると考えられる。つまり昨年度はご来光カフェ開始前から徐々にアクセス数が増え、開催期間半ば過ぎた頃にピークを迎えていたが、今年度は開催前日（9 月 30 日）に一気にピークを迎え、10 月 3 日までは 100 セッション以上を記録、7 日までは 100 に近いアクセス数を記録したという傾向の違いが見られた。
・ご来光カフェに続いてアクセス数が多かったのが、1 月 23 日の 154 セッションであるが、この理由については不明である。海外（米国）からのアクセスと見られる。
・また 2 月 13 日に 84 セッションという高いアクセス数を記録している。これは大阪まち遊学 2011 のレポートを 2 コース同日にアップしたことに加え、旅クラブメンバーが Facebook, Twitter 等で告知を行ったためと考えられる。
・アクセス国は日本が 96.5%と断然高いが、米国(2.5%)、インドネシア(0.2%)、ブラジル(0.2%)、台湾(0.2%)、ウクライナ(0.1 %)、ニュージーランド(0.1%)、ドイツ(0.1%)、ボツワナ、中国からもアクセスがあった。
・参照元ブラウザは，Google が 55%，Yahoo が 34%，Bing が 9%。昨年度は Google が 30%，direct アクセスが 19%，Yahoo が 18%。
・参照元ベスト 10 は①「Facebook」(訪問数 554)、②「Facebook(携帯)」(119)、③「OSAKA-INFO」(119)、④「Twitter」(113)、⑤「旅めがね HP」(94)、⑥「ふくだぶろーぐ」(86)、⑦「ご来光カフェブログ」(78)、⑧「もうひとつの旅クラブ HP」(77)、⑨「大阪川床北浜テラス HP」(55)、⑩「ハートビートプラン HP」(44)。
・検索キーワードベスト 10 は①「もうひとつの旅クラブ」(20%)、②「ご来光カフェ」(9%)、③「旅クラブ」(4.9%)、④「大阪まち遊学」(3.5%)、⑤「もう一つの旅クラブ」(2.1%)、⑥「もうひとつの旅」(1.73%)、⑦「北浜テラス」(1.7%)、⑧「npo 法人もうひとつの旅クラブ」(1.5%)、⑨「ご来光カフェ　大阪」(1.0%)、⑩「大阪まちあるき cup」(0.91%)。

【考察】
・新聞・インターネット等のメディアによるアクセス数増の効果は非常に大きいものがある。
・Facebook や Twitter 等のネットワークへのアナウンスが旅クラブホームページへのアクセス数に大きな影響を及ぼすようになってきていると考えられる。また Facebook や Twitter からのアクセスが際立っている。

図 Google Analytics 解析画面（2011/6/24～2012/02/15）

※　セッションについて：ユーザーが該当サイトで 30 分以上操作を行なわなかった場合、それ以降の操作は新しいセッションとみなされる。一旦，該当サイトを離れたユーザーが 30 分以内に同じサイトに戻ってきた場合は、最初のセッションの一部としてカウントされる。

◆新聞等への掲載、テレビ・ラジオ出演

NPO 活動の実施を通じた取材、投稿により、当 NPO の活動理念、活動内容が以下のホームページ・新聞・雑誌に掲載された。

①新聞・ホームページ

1. 次世代の関西研究会ホームページ「都市をつくる仕事」を語る連続座論「都市の魅力/人の魅力-ツーリズムを使って都市と人をつなぐ仕事」, 2011 年 1 月 8 日（第 6 回）（岩田理事長）
2. 毎日新聞夕刊「高知㊤龍馬をゆく」(2011 年 1 月 17 日)（李理事）
3. 毎日新聞夕刊「高知㊦カツオの国」(2011 年 1 月 24 日)（李理事）
4. 株式会社地域計画建築研究所ホームページ「大阪・野田のななとこまいり」（2011 年 3 月 29 日）（脇理事）
5. 毎日新聞夕刊「再びの豊後大野（大分県）㊦伝統芸能と伝説」(2011 年 5 月 16 日)（李理事）
6. 梅田経済新聞『淀屋橋港桟橋に期間限定「ご来光カフェ」―小型船でのクルーズも』(2011 年 9 月 30 日）
7. 同上 Yahoo！ニュース版(2011 年 9 月 30 日）
8. 梅田経済新聞『土佐堀川に「北浜テラス特設船着場」－ 常設に向けた社会実験で』(2011 年 10 月 14 日）
9. 梅田経済新聞『水都大阪フェスで「大阪水辺バル」開催-ラバーダック展示も』(2011 年 10 月 18 日）

②雑誌・著書・論文

10. 株式会社地域計画建築研究所，「アルパックニュースレター VOL.166」, 2011 年 3 月 1 日「大阪・野田のななとこまいり」p.10（脇理事）
11. 学芸出版社「中心市街地活性化のツボ」 2011 年 4 月（泉理事）
12. 日経アーキテクチュア, 2011 年 5 月 10 日号，「川辺を望む常設の桟座敷」p32-35（泉理事）
13. ランドスケープデザイン No.80，2011 年 10 月号，「川床で陸と川をつなげ 大阪ならではの

風物詩をつくる」p50-55（泉理事）

14. 株式会社地域計画建築研究所，「アルパックニュースレター VOL.170」，2011 年 11 月 1 日「身近なまちなかの楽しみ方」p.10
15. 日本観光研究学会「全国大会」学術論文集, 2011 年 12 月,“着地をベースとした都市型ツーリズムの事業構築”， pp213-pp216（泉理事）
16. 季刊「観光とまちづくり」2011 冬，2012 年 1 月 18 日号，“大阪における食旅と観光まちづくり”p26-27（泉理事）

③テレビ・ラジオ

17. 毎日放送「ちちんぷいぷい」OSAKA 旅めがね大正コース, 2011 年 8 月 24 日放送（福田副理事長）
18. FM802「HIROT’S MORNING JAM」，2011 年 10 月 3 日放送（岩田理事長）
19. ラジオ大阪「お天気コーナー」，2011 年 10 月 3 日放送（岩田理事長）

◀1 次世代の関西研究会ホームページ「都市をつくる仕事」を語る連続座論（岩田理事長）

▲左:2 毎日新聞夕刊「高知㊤龍馬をゆく」右:3 毎日新聞夕刊「高知㊦カツオの国」(ともに李理事)

▲4 株式会社地域計画建築研究所ホームページ「大阪・野田のななとこまいり」（脇理事）

毎日新聞 夕刊 2011年(平成23年)5月26日(月)夕刊

旅・まち・発見 再びの豊後大野(大分県)⑥ 伝統芸能と伝説

穴二つ大蛇の恋のミステリー

なごみの日本美に一票!

▲5 毎日新聞夕刊「再びの豊後大野(大分県)㊦伝統芸能と伝説」(李理事))

写真ニュース ニュース地図 特集一覧

ヘッドラインニュース

淀屋橋港桟橋に期間限定「ご来光カフェ」－小型船でのクルーズも

ツイートする 17 チェック B! 0 いいね! 5

この記事の場所を見る (2011年09月30日)

大阪水上バス淀屋橋港（大阪市中央区北浜3）桟橋に10月1日、期間限定の水上カフェ「ご来光カフェ2011」がオープンする。企画・運営はNPO法人もうひとつの旅クラブ。

2008年の京阪中之島線開業に向け中之島を盛り上げようと、2005年に行われた社会実験イベント「中之島物語、その未力と魅力」。同NPOは「舟屋プロジェクト」と題し、いろいろな地方の人に来てもらおうと、中之島公園・バラ園に「ローズポート」という仮設桟橋と舟屋を開設。さまざまな都市との交流プログラムを展開した。

写真を拡大

8日間限定でオープンする水上カフェ「ご来光カフェ」

翌2006年は、メンバーそれぞれに仕事があるため「オフィスタイムを外したイベントをしよう」と考案。朝、淀屋橋周辺を歩いてみたときに「桟橋でコーヒーが飲めたら気持ちいいね」「東側に生駒山が見えるから日の出が見られるのでは」と「ご来光カフェ」を企画・実施した。2006年は15日間限定で開催したが、桟橋から日の出が見えるのは約1週間と判明。翌年は8日間開催し、今年も同期間で開催する。

来場者は子ども連れの家族や学生、期間中2～3回来店する老夫婦など幅広く、昨年は約420人が来店。メニューは、手作りスコーン（2個200円）、シナモンアップルトースト「ポンヌフ」（200円）と、コーヒー、紅茶、抹茶（各400円）を用意。「今年は新メニューが登場するかも」と理事の岩田尚樹さん。

期間中、水上バス「アクアmini」でクルージングする「ご来光クルーズ」も運行。約20分のクルーズで、水位と船長の気分で各日コースが変わるという。ワンドリンク付き1,000円。6時30分から随時運行する。

「ご来光カフェ」の営業時間は5時50分ごろ～8時30分（10月1日の日の出は5時52分）。雨天休み。休みの場合は、5時までにホームページで知らせる。

淀屋橋港水上バス乗り場に「ミオバル」－水都大阪のランドマークに（梅田経済新聞）
伊勢志摩スカイライン・朝熊岳展望台から初日の出、「ご来光」に2,500人（伊勢志摩経済新聞）
ご来光カフェ2011
もうひとつの旅クラブ

[PR] 転職 大阪
[PR] 派遣 梅田

▶6 梅田経済新聞『淀屋橋港桟橋に期間限定「ご来光カフェ」―小型船でのクルーズも』

近畿 大阪 | 兵庫 | 京都 | 滋賀 | 奈良 | 和歌山

淀屋橋港桟橋に期間限定「ご来光カフェ」－小型船でのクルーズも ／大阪

みんなの経済新聞ネットワーク 9月30日(金)11時13分配信

大阪水上バス淀屋橋港(大阪市中央区北浜3)桟橋に10月1日、期間限定の水上カフェ「ご来光カフェ2011」がオープンする。企画・運営はNPO法人もうひとつの旅クラブ。(梅田経済新聞)

2008年の京阪中之島線開業に向け中之島を盛り上げようと、2005年に行われた社会実験イベント「中之島物語、その未力と魅力」。同NPOは「舟屋プロジェクト」と題し、いろいろな地方の人に来てもらおうと、中之島公園・バラ園に「ローズポート」という仮設桟橋と舟屋を開設。さまざまな都市との交流プログラムを展開した。

翌2006年は、メンバーそれぞれに仕事があるため「オフィスタイムを外したイベントをしよう」と考案。朝、淀屋橋周辺を歩いてみたときに「桟橋でコーヒーが飲めたら気持ちいいね」「東側に生駒山が見えるから日の出が見られるのでは」と「ご来光カフェ」を企画・実施した。2006年は15日間限定で開催したが、桟橋から日の出が見えるのは約1週間と判明。翌年は8日間開催し、今年も同期間で開催する。

拡大写真
8日間限定でオープンする水上カフェ「ご来光カフェ」

来場者は子ども連れの家族や学生、期間中2～3回来店する老夫婦など幅広く、昨年は約420人が来店。メニューは、手作りスコーン(2個200円)、シナモンアップルトースト「ポンヌフ」(200円)と、コーヒー、紅茶、抹茶(各400円)を用意。「今年は新メニューが登場するかも」と理事の岩田尚樹さん。

期間中、水上バス「アクアmini」でクルージングする「ご来光クルーズ」も運行。約20分のクルーズで、水位と船長の気分で各日コースが変わるという。ワンドリンク付き1,000円。6時30分から随時運行する。

「ご来光カフェ」の営業時間は5時50分ごろ～8時30分(10月1日の日の出は5時52分)。雨天休み。休みの場合は、5時までにホームページで知らせる。

【関連記事】
淀屋橋港水上バス乗り場に「ミオバル」－水都大阪のランドマークに(梅田経済新聞)
伊勢志摩スカイライン・朝熊岳展望台から初日の出、「ご来光」に2,500人(伊勢志摩経済新聞)
ご来光カフェ2011
もうひとつの旅クラブ

最終更新 9月30日(金)16時43分

みんなの経済新聞 NETWORK

▲7 Yahoo！ニュース版

土佐堀川に「北浜テラス特設船着場」－常設に向けた社会実験で

ツイート 19　いいね！ 18　+1 0　チェック　B!

この記事の場所を見る　（2011年10月14日）

写真を拡大

土佐堀川に開設した「北浜テラス特設船着場」

北浜エリアのテナントや建物オーナー、NPOなどから成る北浜水辺協議会は10月1日、土佐堀川左岸に1カ月限定の「北浜テラス特設船着場」（大阪市中央区北浜、TEL（06-6538-4880））を開設した。

川に近づき体感し日常利用することを目標に掲げる同協議会。2010年からは土佐堀川沿いの飲食店で川床を楽しめる「北浜テラス」を常設化するなど、水辺の立地を生かした北浜地域の活性、水辺の景観の創出などを目的とした活動を行っている。

1カ月限定で設置した船着場は「北浜テラス」に合わせた小型船舶運活性化の社会実験で、船着き場の設置、運営管理・登録・運航ルールの試行、小型船ニーズの把握などを目的に実施。現在は「大阪で観光小型船を営業されている会社や水辺を研究されている方、西宮からレンタルボートで来られる方などが予約されている」（事務局の山根さん）という。

期間中の金曜・土曜は、eよこ会（東横堀川水辺再生協議会）の企画で、「本町橋船着場」－「北浜テラス」－「本町橋船着場」の定期便を1日2便運航。「北浜テラス」での乗下船も可能で、予約なしで乗れるようになってからは店舗で食事をした後に乗船する人もいるという。運賃は1区間500円。今月24日～30日は、同協議会主催で1日9便の観光クルーズを北浜テラス発着で運航する。同船着き場へは、北浜テラス参加店舗「十六夜」の店内を通り抜けて行く。

今回の取り組みで予約者からは「大阪には今まで小型船で行けるところがなかったので非常にうれしい」との声もあり、「今後はそういう思いの人とできるだけつながって、市の中心部まで船で来るニーズをつかみたい」と山根さん。常設するには「航行の安全性や設備の維持管理、不法係留船対策などの課題をクリアできる船着き場施設やオペレーション方法を確立することが必要」だというが、「一番大切なのは水都大阪を代表するこの地に、『船場の北の浜（船着場）』だった景観を取り戻すんだ、という水都スピリット」と意気込みを見せる。

「川や水路を交通路として利用してこそ『水都』。ぜひとも本町、淡町を結ぶクルーズや、22日の水辺バルに船で来てほしい」と山根さん。「免許をお持ちの方はぜひこの機会にレンタルボートでもお越しいただければ。新しい世界がきっと広がるはず」とも。

利用時間は10時～23時。利用には事前に船舶登録、寄港日届け出が必要で、利用要項や予約状況はホームページで確認できる。

「北浜テラス特設船着場」の開設は今月31日まで。

▲8 梅田経済新聞『土佐堀川に「北浜テラス特設船着場」－ 常設に向けた社会実験で』

みんなで選ぼう！「みん経まちのニュース大賞2011」一投票受付中

ヘッドラインニュース

水都大阪フェスで「大阪水辺バル」開催－ラバーダック展示も

ツイート 56　いいね！ 76　+1 0　チェック　B!

この記事の場所を見る　（2011年10月18日）

写真を拡大

22日に開催する「水辺バル」

10月1日から開催中の「水都大阪フェス2011」のメーンとなる「チャレンジウイーク」が22日から始まり、水辺や街中を楽しむ多数のプログラムが展開される。

中之島周辺を中心に「水辺のまちあそび～やってみたいをかなえよう」をコンセプトに掲げ、さまざまなプログラムを市民、企業、行政が連携し展開する同イベント。これまでにない水辺の楽しみ方、街の魅力づくりを提案する。

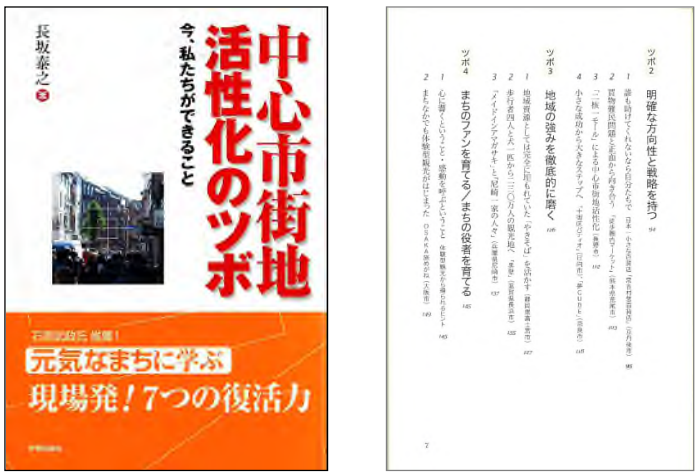
22日に開催する「水辺バル」は、北浜、天満橋、東横堀、福島、大正の5つの船着場周辺エリアに一日限定の「バル街」を作り、船で巡りながら各店をはしごできるもの。参加店舗は90店舗で、それぞれ自慢の一皿と1ドリンクを組み合わせた「バルメニュー」を用意する。「バルとクルーズを組み合わせた取り組みは初めてでは」と話すのは、水都大阪フェス2011のディレクター・泉英明さん。「大阪の『うまい』を船ではしごするのは新たな大阪の楽しみ方。この日限定の自慢のメニューと、複数のエリアを船で行き来して街の散策も一緒に楽しんでほしい」と話す。

バルチケットは5枚つづりで、前売り＝3,000円（今月20日まで）、当日＝3,500円。2枚はクルーズと兼用で使用でき、残ったチケットは23日～28日、「あとバル」参加店で600円のチケットとして使用できる。バルの開催時間＝11時～29時、クルーズ＝10時～21時。OSAKA旅めがね案内人・池末瑛一さんと行く「福島・路地裏グルメツアー」や、東横堀川三角公園特設ステージでの音楽イベントなども開催する。

同日からは、中之島ばら園・ばら園橋南側水面に高さ9.5メートル、幅9.5メートル、長さ11メートルの巨大子アヒル「ラバーダック」をチャリティー展示。「大阪から被災地を応援し元気づけたいと、水都大阪フェスや大阪マラソンで多くの人が大阪を訪れるこの時期に再展示を企画した」といい、展示会場付近では、レプリカ、Tシャツの支援グッズを販売。1点につき商品に含まれる販売支援金500円と同額の500円を拠出し寄付するという。展示は今月30日まで。

▲9 梅田経済新聞『水都大阪フェスで「大阪水辺バル」開催－ラバーダック展示も』

▲10 株式会社地域計画建築研究所，アルパックニュースレターVOL.166「大阪・野田のななとこまいり」（脇理事）



▲11 学芸出版社「中心市街地活性化のツボ」2011 年 4 月（泉理事）

▲12 日経アーキテクチュア，2011 年 5 月 10 日号，「川辺を望む常設の桟座敷」（泉理事）

▲13 ランドスケープデザイン No.80，2011 年 10 月号，「川床で陸と川をつなげ　大阪ならではの風物詩をつくる」（泉理事）

▲14 株式会社地域計画建築研究所，アルパックニュースレターVOL.170「身近なまちなかの楽しみ方」

▲15 日本観光研究学会「全国大会」学術論文集，2011 年 12 月，“着地をベースとした都市型ツーリズムの事業構築”，（泉理事）

▲16 季刊「観光とまちづくり」2011 冬，2012 年 1 月 18 日号，“大阪における食旅と観光まちづくり”（泉理事）

◆各種委員会・審議会等への参加

①水辺のまちづくり企画推進委員会

・事務局：水都大阪推進委員会

・実施日：2011 年 2 月 18 日（金）（第 4 回）、6 月 2 日（木）（第 5 回）、9 月 13 日（火）（第 6 回）

・担　当：岩田理事長、泉理事

②水都大阪フェス 2011

・事務局：水都賑わい創出実行委員会

・水都フェス期間：トライアルマンス　2011 年 10 月 1 日（土）ー11 月 30 日（水）

：チャレンジウィーク 2011 年 10 月 22 日（土）ー30 日（日）

・担　当：泉理事／水都フェス･ディレクター（水辺バル＆北浜テラス船着場プロジェクト主担当）

・NPO もうひとつの旅クラブとして、ご来光カフェ・大阪まちあるき CUP を企画運営

※水都大阪 2009 から継承されたつながりやノウハウを生かしながら､新たなネットワークを築き、これまでにない水辺の使い方や、まちの魅力づくりにチャレンジしていくプロジェクト

③みんなの大阪会議

・事務局：みんなの大阪会議世話人会

・実施日：2011 年 11 月 18 日（金）

・担　当：岸田副理事長、泉理事／世話人会メンバーに参加

※水都大阪 2009 市民参加準備会議に参加した様々な団体･グループのメンバーが中心となって、サロンのような自主的な輪となる交流の場への参加・運営協力

④水都大阪・かわまちフォーラム

・主　催：水都賑わい創出実行委員会

・実施日：2011 年 12 月 17 日（土）

・担　当：岸田副理事長

※「水都大阪　水と光のまちづくり構想」の実現に向け、川とまちがつながる情報発信の拠点である八軒家浜において、水都大阪の振興に向けた具体的プロジェクトについて、様々なまちづくりの実践者等との意見交換・提案の場

◆講演・発表

①都市をつくる仕事 U-PUB-06「都市の魅力・人の魅力」

・主　催：日本都市計画学会、関西支部次世代の関西研究会

・開　催：2011 年 1 月 8 日（土）鶴橋界隈・成田商店 2 階

・担　当：岩田理事

※大阪旅めがね【鶴橋・桃谷】コースを案内後、参加者への発表と対話

②観光セミナー『地元の人だけが知っている　OSAKA 旅めがねに見る、地域密着型コミュニティ・ツーリズムの魅力』

・主　催：滋賀県湖南地域観光振興協議会

・開　催：2011 年 3 月 25 日（金）守山市駅前コミュニティホール

・担　当：泉理事

③300DOORS『水都大阪を体感する「旅」のつくり方』

・主　催：IWF 実行委員会

・開　催：2011 年 8 月 4 日（木）大阪市中央公会堂

・担　当：泉理事

④物語おこし交流会『OSAKA 旅めがねほんまもんの大阪ツアーー市民・企業・行政の連携で生まれた着地型観光ツアーづくり』

・主　催：「美し国おこし・三重」実行委員会

・開　催：2011 年 9 月 27 日（火）三重県総合文化センター中研修室

・担　当：泉理事

⑤上田市まちづくり・地域づくりコーディネーター養成講座

『地域主体のまちづくり～人とまちをつなぐ大阪の取組み事例から～』

・主　催：上田市

・開　催：2011 年 11 月 19 日（土）長野大学講義室

・担　当：泉理事

⑥日本都市計画学会大会ワークショップ・モノづくり観光研究会

『産業・生活・文化の総合的アプローチによるクリエイティブ･タウン構想』

・主　催：日本都市計画学会

・開　催：2011 年 11 月 20 日（日）東京大学工学部 14 号館

・担　当：泉理事

⑦日本都市計画学会関西支部企画委員会 第 1 回フィールドワーク

『テーマ「まちの語り方」OSAKA 旅めがねに学ぶ～大阪のまちの語り方』

・主　催：日本都市計画学会関西支部企画委員会

・開　催：2011 年 11 月 23 日（祝）大正周辺／大阪府立大学　中之島サテライト

・担　当：（ファーストステージ）福田副理事長／大正まち案内

（セカンドステージ）泉理事／セミナー

⑧第 26 回日本観光研究学会全国大会

『着地をベースとした都市型ツーリズムの事業構築～コミュニティ・ベースド・ツーリズムの現状と克服すべき課題と今後の可能性～』

・主　催：日本観光研究学会

・開　催：2011 年 12 月 4 日（日）阪南大学

・担　当：泉理事

2. 旅クラブの組織活動(組織活動の充実と強化)と財源確保

(1)組織活動、市民参加による事業推進

①会員の拡大

大阪まち遊学の参加者との交流やご来光カフェの運営ボランティアスタッフの充実などを通じ、当 NPO の活動主旨に賛同いただける方の発掘に努めた。今年度は会員数の増加はなかったが、当 NPO の活動に関心を持っている方は着実に増えている。

◇2011 年度の会員数

・正会員　27 名（前年度比 1 名減）
・賛助会員　0 名（前年度比増減なし）

②組織活動

前期と同様に運営委員会を月例で開催し、大阪まち遊学、ご来光カフェ、旅談議、まち歩き CUP などの事業の企画・実施方策等を協議した。企画調査業務など専門性が求められる事業においては、受託先との会議やとりまとめ作業は担当理事を中心に行うものの、多才な会員のスキルをできる限り活かした作業分担を図った。

◇総会（第 9 回）の開催

・開催日時：2011 年 3 月 26 日（土）16 時 00 分～17 時 45 分
・会　場：オークプリオタワー8 階（大阪市港区弁天）
・出　席：9 名（書面出席 13 名）、欠席 5 名
・議　案：2010 年度事業報告及び決算報告
　　2011 年度事業計画及び収支予算の審議
　　役員改選（脇理事、河野理事新任）

◇理事会の開催

理事会は総会に先立ち 2011 年 2 月 2 日（水）に 7 名参加にて行われた。尚、総会に伴い 3 月 26 日の総会後にも理事長など役員選任の理事会が行われた。

◇運営委員会の開催

以下の通り、理事・会員混合型の運営委員会を開催し、各事業の企画・運営協議を行った。

・1 月 28 日（金）7 名参加　・2 月 25 日（金）8 名参加　・ 4 月 10 日（日）8 名参加
・5 月 13 日（金）8 名参加　・6 月 10 日（金）8 名参加　・ 7 月　8 日（金）8 名参加
・8 月　1 日（月）8 名参加　・9 月 15 日（木）8 名参加　・11 月 25 日（金）8 名参加

各運営委員会は当 NPO に興味のある人にオープンで行われ、各月 1～2 名のオブザーバー参加を得て行われた。

(2)財源確保の充実と課題

2011 年度も収入面では企画調査業務や大阪まちあるき CUP 運営等の委託費にて運営の基盤となる定常的な経費がまかなわれている。ご来光カフェや大阪まち遊学など定着化した自主プログラムについては、プログラム毎に収支バランスを取る原則で、着実に継続しているが、多様な活動を継続していくためには、外部からの委託業務の受託が今後とも重要である。受託量の確保と柔軟性のある NPO 運営を図っていく必要がある。